

はじめての小学校授業（1） —授業計画及び実施について—

糠 明珊（元智大学）

キーワード：小学校，授業

はじめに

地元の霄裡小学校より、「生活、自然と社会」との授業支援の請求をいただき、小学校での授業をはじめた。「生活、自然と社会」の授業で、自転車をメインとして、授業の取り組みを考え、機械工学学科の陳永樹先生と、二人で担当することになった。六年生のA、Bクラスを対象として、火曜日三コマ目（10：20-11：00、Bクラス、15名）及び四コマ目（11：10-11：50、Aクラス、13名）の時間で、2017年10月から2018年1月まで、合計13回の授業を行った。

授業の方法及び内容

長い間、大学生を対象とした授業をやってきたので、大学で講義を中心とした方略で、集中力が長くない小学生には通用出来なかった。それに、はじめての小学生授業は慣れないばかりか、かなりの調整は必要であった。

子どもたちに興味を持って学んで欲しく、自転車のルールやマナーもわかりやすく伝え、もちろん危険性もうまく伝えたい。それに、学習者中心として授業作りを心がけて、授業の実用性を考慮に入れ、生活と関連付けて、便利な工具使用の内容も取り入れた。それゆえ、講義のほか、応答、実演、ハンズオンなどの方略もこの授業に用い、下記の通り、スケジュールを立てた（Table 1）。

Table 1 授業計画

	テーマ	ハンズオン
1	自転車の歴史、種類	
2	自転車選び	自転車フィッティング —サドルの高さの合わせ方
3	サイクルウェア	ヘルメットの着用法
4	1.変速の原理 2.自転車ギアの使い方 3.自転車の危険防止	1.自転車乗り 2.自転車ギアの使い方
5	1.タイヤの空気入り 2.タイヤの取り付け及び外し	1.タイヤの空気入り 2.タイヤの取り付け及び外し
6	パンク修理	輪ゴムによるパンク修理
7	重心	自転車の重量測り
8	インチ単位からメートル単位への変換	インチ単位からメートル単位への変換計算
9	日常生活での便利な工具及びその使い方	1.ラチェットレンチの使用 2.磁石の活用法 3.ケーブルタイの使い方

授業の成果

自転車をメインとしての授業なので、受講生全員が自転車に乗れる目標を立てた。二クラスには一人ずつ乗れない生徒（C君とD君）がいて、陳先生がテキスト（Sidwells, 2005）の教授法により、授業外の練習時間を設け、意外にC君とD君とも、ただの10分で乗れるようにできた。あまりにも効率的なのが、霄裡小学校の校長が驚いて、「霄裡神話」まで名づけた。

担任先生の話によれば、物事に自信がなかったC君が自転車に乗れない壁を乗り越えたことにより、本人の自信が持てるようになり、能動的に授業に参加するようになった。D君が自転車に乗れるようになってから、この授業での学習もより積極的な態度を示した。

この授業の成績の評定について、受講証明書を発行することにした。最終講義で、生徒一人ずつ、授業内容をレビューしてから、受講証明書を与える。驚いたことに、みんながそれぞれ異なった授業内容を語り、担当教師も覚えられないほど、細かい授業内容までレビューし、みんなが真剣に受講していたことが明らかになった。

まとめ

最終講義で、子どもから感謝のメッセージカード（Figure 1）をいただき、素朴な気持ちを込められた絵と文字から、教育という仕事の意味を改めて教えさせられた。



Figure 1 子どもからもらったカードの一例

文献

Sidwells, C.(2005). Complete bike book. DK ,New York.